

平成29年度

雲南市浄化槽市町村整備推進事業  
(特定地域生活排水処理施設整備事業)

浄化槽設置工事  
特記仕様書

雲 南 市

# 工 事 概 要

本工事は、雲南市浄化槽市町村整備推進事業（特定地域生活排水処理施設整備事業）による浄化槽を設置するにあたり、その仕様を定めるものである。

工事の場所 公共下水道・農業集落排水施設等の区域を除く市内全域

## 第 1 章 一般共通事項

1.1 工事仕様	図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共機械設備工事標準仕様書－平成 25 年版」、「公共建築工事標準仕様書－平成 25 年版」及び「公共電気設備工事標準仕様書－平成 25 年版」による。
1.2 法令・規則等	建築基準法、消防法、電気設備技術基準等、関係諸法、規則等に基づき施工する。
1.3 優先順位	① 法令・規則等 ② 現場説明書 ③ 特記仕様書 ④ 設計図・施工計画書 ⑤ 共通仕様書
1.4 疑義	計画図書が互いに相違する場合、明記ない場合及び疑義を生じた場合はその都度速やかに監理者と協議の上、施工しなければならない。
1.5 第三者との交渉	請負者は、工事に関し第三者からの交渉を受けまたは第三者に交渉の必要が生じた場合は、監理者に報告しなければならない。
1.6 安全対策	工事に際しては、安全柵を設置する等安全について十分注意しなければならない。
1.7 住民との対応	付近住民より意見及び苦情があった場合は、丁重に対応し、その旨を速やかに監理者に報告しなければならない。
1.8 手続き・工事用電力・水等	本工事に必要な手続きは、監理者と密接な連絡を保って、これにあたること。 これに要する経費及び本工事に必要な工事用電力・水等の費用は、請負者の負担とする。
1.9 工事写真	工事写真は、施工に伴いその状況及び工程を明確に記録するため、主要箇所並びに監理者の指示した場所の写真（工事種別、各工事場所等を明記した黒板を立て、幅広テープ等により寸法判別ができること）を提出すること。ピンボケ等で工事状況が明確でない写真は、工事写真として認めない。 写真の大きさ及び提出部数は、監理者の指示による。 また、デジタルカメラで撮影した工事写真をプリントし提出する際には、写真印刷に適した紙質を使用すること。工事写真帳は、立会写真（着工前、出来形確認・浄化槽据え付け）から掲載し、工事工程の順に従い整理し、提出すること。

<p>1. 10 提出図書</p>	<p>本工事完成時下記の図書は、監理者の指示する部数を提出すること。</p> <p>イ．完成図及び施工図・・・・・・・・・・・・・ 1 部 （設計図に出来高寸法を朱書きで記入し提出）</p> <p>ロ．打合せ議事録・・・・・・・・・・・・・ 1 部</p> <p>ハ．工事写真及び（完成写真）・・・・・・・・・・・・・ 1 部</p> <p>ニ．その他（管理者の指示によるもの）・・・・・・・・・・・・・ 1 部</p>
<p>1. 11 既成部分の補修</p>	<p>工事の施工に伴い既成部品を汚染または損傷した場合は、既成に倣い補修する。</p>
<p>1. 12 建築物その他の 工作物に近接し て工事を行う場 合</p>	<p>浄化槽工事を建築物その他の工作物に近接して行わないこと。敷地の狭隘等の理由からやむを得ず近接して工事を行う場合には、監理者に対し必ず事前協議を行うこと。</p> <p>工事に着手する際は、当該工作物の地盤を強化する、工作物の直近の地盤は掘り返さないなど事前の措置をとり、当該工作物の傾斜、横すべり、倒壊などを防ぐこと。</p> <p>さらに、当該工作物所有者に対し、近接して工事を行う場合のリスク等を十分に説明し、疑義が無い様理解を得ること。</p>

## 第 2 章 工 事

2.1 仮設工事	<ul style="list-style-type: none"><li>・ベンチマーク                    固定物に設ける。</li></ul>						
2.2 土工事	<ul style="list-style-type: none"><li>・掘削                                バックホウ（排出対策型）</li><li>・埋戻し（盛土）                購入土（路盤用置換砂）</li><li>・残土                                場外処分</li><li>・砕石基礎                        クラッシャーラン    RC-40</li><li>・支柱                                ヒューム管外圧管 1 種Φ150、（浄化槽によってはΦ200）</li></ul>						
2.3 コンクリート 工事	<ul style="list-style-type: none"><li>・材料                                普通ポルトランドセメント（基礎）                                         普通ポルトランドセメント（土間）                                         普通ポルトランドセメント（支柱、ブロワ台）</li><li>・型枠の取り外し <table border="1"><tr><td>高炉セメント B 種</td><td>普通ポルトランドセメント</td><td>早強ポルトランドセメント</td></tr><tr><td>7 日以上</td><td>5 日以上</td><td>3 日以上</td></tr></table><p>※但し、J I S 許可証及び出荷伝票（原本）を提出する事。</p></li></ul>	高炉セメント B 種	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント	7 日以上	5 日以上	3 日以上
高炉セメント B 種	普通ポルトランドセメント	早強ポルトランドセメント					
7 日以上	5 日以上	3 日以上					
2.4 鉄筋工事	<ul style="list-style-type: none"><li>・異形鉄筋                        SD295</li><li>・鉄筋のかぶり厚 <table border="1"><tr><td>4cm</td><td>スラブ</td></tr><tr><td>4cm</td><td>基礎</td></tr></table><p>※スペーサーはコンクリート製及びモルタル製で同等以上なものを使用する。</p></li></ul>	4cm	スラブ	4cm	基礎		
4cm	スラブ						
4cm	基礎						
2.5 配管工事 及び嵩上げ工事	<ul style="list-style-type: none"><li>・流入管、放流管                VUΦ100</li><li>・臭突管取り出し                VUΦ65（浄化槽によってはΦ75）</li><li>・散気管                            HIVPΦ13（距離によってΦ20）</li><li>・嵩上げの外側及び内側には不明水の流入防止の為、コーキング処理を施す。</li></ul>						
2.6 ブロワ取付け 及びブロワ本体	<ul style="list-style-type: none"><li>・ブロワ配管について、頂部コンクリート内では曲がり継手（エルボ等）は使用しないこと。    ※必ずコンクリートの外で曲げること。</li><li>・ブロワ台 H=100mm 以上高くし、ブロワの外寸より 5cm 大きいコンクリート台とする。配管長は 5m 以内が望ましい。また、曲がりには少なくする</li></ul> <p>設置場所は、保守点検が容易に行える場所で、日陰で風通しが良く、雨水が直接流れ落ちない場所を選定すること。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・浄化槽のブロワは、必ず省電力化タイプを使用する。省電力の条件は次のとおりである。 5 人槽⇒52W以下、7 人槽⇒74W以下、10 人槽⇒101W以下 11 人槽以上⇒（n×9.6+4）W以下    ※n = 人槽</li></ul>						

### 第 3 章 指定製造業者

3.1 浄化槽	昭和 55 年建設省告示第 1292 号に基づく性能を有し、かつ、(財) 日本建築センターが認定したもので、監理者の承認を得たもの。 ※ (財) 日本建築センター認定の「工場生産浄化槽認定シート」を発行されたもの。
------------	--

### 第 4 章 浄化槽工事

4.1 資格	本工事を行おうとするものは、浄化槽法第 5 章―浄化槽工事業に係る登録（第 21 条～第 34 条）―の資格を有する者とする。
4.2 工事監督	<u>浄化槽の工事を行うときは、浄化槽設備士が実地に監督すること。</u>